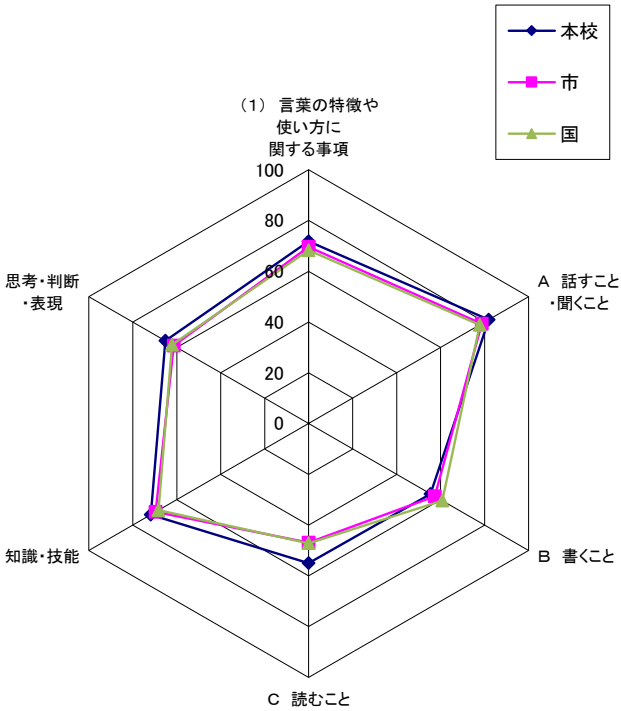


宇都宮市立富士見小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	71.8	69.6	68.3
	(2) 情報の扱い方にに関する事項			
	(3) 我が国の言語文化に関する事項			
	A 話すこと・聞くこと	81.9	78.7	77.8
	B 書くこと	55.4	57.3	60.7
	C 読むこと	55.0	46.9	47.2
観点	知識・技能	71.8	69.6	68.3
	思考・判断・表現	65.2	61.4	62.1
	主体的に学習に取り組む態度			



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
(1) 言語の特徴や使い方にに関する事項	○本領域の平均正答率は71.8%で、国の正答率を3.5ポイント上回った。 ○「思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使う」の平均正答率は90.7%で、国の正答率を3.2ポイント上回った。 ●「文の中における修飾と被修飾との関係を捉える」の平均正答率は、国の正答率を4.5ポイント上回ってはいるが、48.1%であった。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・文章を書くときには、漢字を正しく書くことや、主語と述語、修飾語と被修飾語の関係に気を付けて書くことができるように指導していく。 ・修飾語には動きを表す語句を詳しくする場合と、ものや人などを詳しくする場合があることが理解できるようにする。そのために、文章の中から、修飾語と被修飾語の関係を捉えさせたり、修飾語を加えて分かりやすい文章を書いたりする機会を設けていく。
A 話すこと・聞くこと	○本領域の平均正答率は81.9%で、国の正答率を4.1ポイント上回った。 ○「目的や意図に応じ、資料を使って話す」の平均正答率は87.6%で、国の正答率を6.6ポイント上回った。 ●「資料を用いた目的を理解する」の平均正答率は、国の正答率を0.3ポイント上回ってはいるが、75.2%であった。	・自分の考えを伝える活動の際には、話の内容が明確になるように構成を考えたり、資料を活用して、聞き手に分かりやすく話したりすることができるようにしていく。 ・目的や相手、状況に応じて、自分の考えを伝えるために必要な資料は何かを、取捨選択できるように指導し、資料を用いるよさを理解させながら、意見や提案、報告などの話ができるようにしていく。
B 書くこと	●本領域の平均正答率は55.4%で、国の正答率を5.3ポイント下回った。 ●「自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える」の平均正答率は59.7%で、国の正答率を5.1ポイント下回った。	・筋道の通った文章になるように、文章全体の構成や展開を考えたり、目的や意図に応じて書き表し方を工夫したりしながら、自分の考えを主張する文章を書くことができるようにしていく。 ・文章の構成や展開を考えるときには、自分が主張したいことは何か、それを支える理由や事例は何かを明確にさせる。その上で、理由や事例を文章全体の中でどのように配置すれば自分の主張が効果的に相手に伝わるか考えさせていく。
C 読むこと	○本領域の平均正答率は55.0%で、国の正答率を7.8ポイント上回った。 ○「文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する」の平均正答率は82.2%で、国の正答率を4.6ポイント上回った。 ●「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する」の平均正答率は、国の正答率を11.4ポイント上回ってはいるが、41.1%であった。 ●「目的に応じ、文章と図表とを結びつけて必要な情報を見付ける」の平均正答率は、国の正答率を7.5ポイント上回ってはいるが、41.9%であった。	・説明文から、筆者の主張を読み取る際には、文章全体の構成を捉えるとともに、目的に応じて中心となる語や文を見付け、分量を考えて要約したり、文章と図を結び付けるなどして必要な情報を見付けたりすることができるようにしていく。 ・文章を要約する活動においては、目的意識をもたせ、要約のポイントを押さえながら記述できるようにしていく。